

消防署見学

消防署で見つけたことをできるだけたくさん書きましょう。

.....

.....

.....

消防署で働く人たちのお話の中で、心に残ったことを書きましょう。

.....

.....

.....

事後学習

消防署の仕事についてまとめましょう。

.....

.....

.....

.....

.....



先生から

おうちの人から

.....

.....

.....

.....

.....

.....

○

○

○

○

○

○



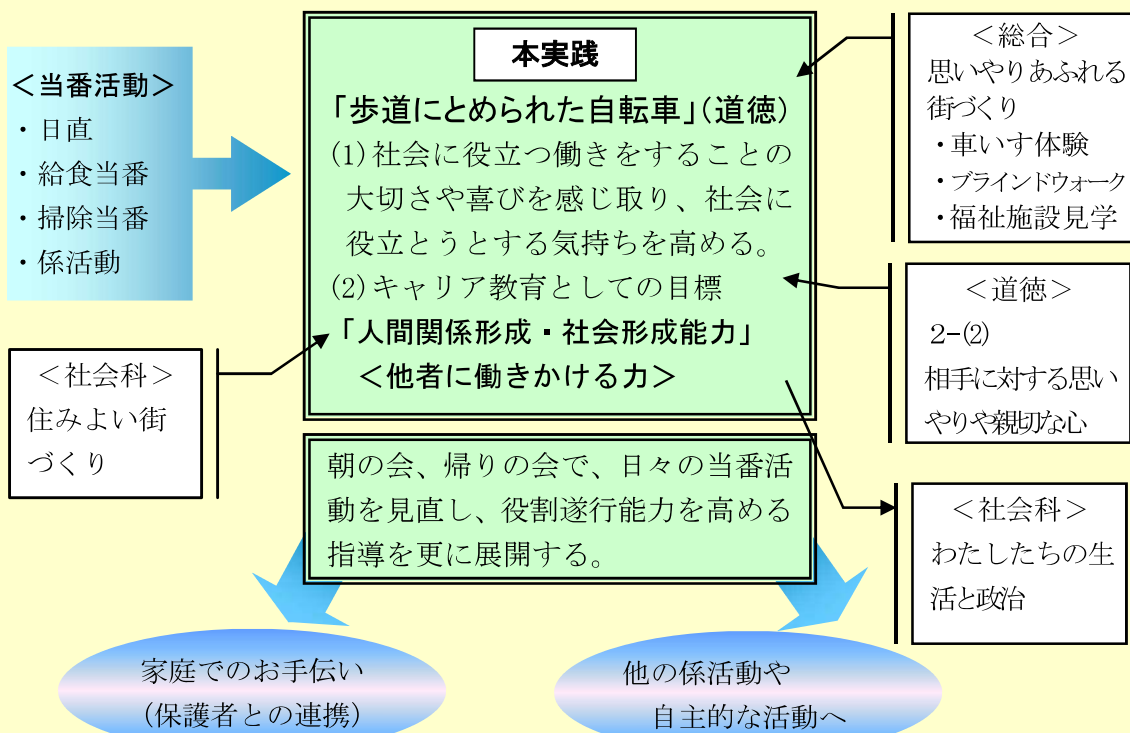
全体構想

No.20

題材名

「歩道にとめられた自転車」

1 学年、教科・領域	小学校第5学年 道徳
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験活動の経験を基に、実際の場面を想定し、社会に役立つ働きをするためには、自分の身の回りの出来事からまず行動することの大切さに気付かせる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> 車いす体験やブラインドウォーク、福祉施設見学などを通して、少し視野を広げると自分たちにもできることがたくさんあることを知る。しかし、子どもたちが、明らかに目が不自由な人に出会ったり、車いすの人に出会ったりする機会はまれである。本実践では、車いすの男性をきっかけに、日ごろ何気なくやっつけてしまっている自己中心的な行動を振り返り、社会の一員としての責任を果たすことの大切さに気付かせたい。 人間は、社会の一員として互いに支え合い助け合いながら生活していかななくてはならない。社会に役立つ働きをすることの大切さや喜びを感じ取り、社会に役立とうとする気持ちを高めることは、他者と協力・協働して社会に参画することにつながり、キャリア教育の視点から、意義ある活動である。



歩道にとめられた自転車

1 学年、教科・領域 小学校第5学年 道徳【4-(1)】

2 本時の目標

- (1) 車いす体験、ブラインドウォーク、福祉施設見学等の経験を基に、社会に役立つ働きをすることの大切さや喜びを感じ取り、社会に役立とうとする気持ちを高める。
- (2) **「人間関係形成・社会形成能力」＜他者に働きかける力＞**

3 準備

- 資料「歩道にとめられた自転車」(出典：明るい心)

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 車いす体験やブラインドウォークの経験から、困ったことや大変だったことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段差が乗り越えられない。 ・ちょっとした段差や出っ張りに、つまづいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通常では気にならない、少しの段差や傾き、小さな障害物でさえ移動が難しくなったことを思い起こさせる。 ○自分の目線では気付かなかったこと存在を意識させる。
<p>2 「歩道にとめられた自転車」を読み、登場人物の気持ちを話し合う。</p> <p>(1) 登場人物は誰でしょう。</p> <p>(2) どんなことが起きましたか。</p> <p>(3) 「どうしようかまよっている」清美をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしいからだと思う。 ・行動しないのは理解できない。 ・何をしていたか分からなかった。 <p>(4) 友子の行動の後、「自然と自転車の整理をした」清美はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になっていたことが解決できてよかった。 ・はじめから置かなければいい。 ・気が付かない人がなんて多いんだ。 ・勇気を出して動けてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物から整理して、全員が内容をつかめるようにする。 ○自分の言葉で最後まで語らせる。 ○自分ならどうするかを基に、清美の行動から気持ちを考えさせる。 <p>◎自分の行動が直接の原因でなくても、気が付いたら積極的に行動することで社会の役に立てることに気付かせる。</p> <p>☆人の役に立つことの素晴らしさに気付くことができたか、発言から判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの深まりに応じ、清美の気持ちにとどまらず、自分ならどうするか、友子がいなかったらどうかなど、自分が行動を起こす場面を想定した話し合いをさせる。
<p>3 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「友子……。」の……にどんな言葉が入るか考えさせる。 ○身近な自転車置き場の様子から、特別な例ではないことに気付かせ、日ごろ何気なくしてしまうことの問題点にも目を向けさせ、自分の行動を振り返る機会とする。

ゆめ み こうかい
夢を見つける航海ノート

No.20

歩道にとめられた自転車

自分のまわりを知ろう。
自分から行動しよう。



「よいことをする。」って、
少し勇気がいるかもしれないな。
でも、やってよかったという
喜びはきっと大きいぞ。

車いすやブラインドウォークを体験したとき、
困ったことや大変だったのはどんなことですか。

.....

.....

.....

.....

「どうしようかまよっている」清美をどう思いますか。

.....

.....

.....

友子の行動の後、「自然と自転車の整理をした」清美は
どんな気持ちだったのでしょうか。

.....

.....

.....

自分たちの生活をふり返って、
周りの人の役に立ったと感じたことを思い出してみましよう。

.....

.....

.....

恥ずかしかったのかも
しれないね。



東日本大震災のあと、
街で募金した人が
いるんじゃないかな。
あのことも、被災された方の
役に立った行動だよ。





全体構想

No.21

単元名

「こだわりのものづくりを体験しよう」

1 学年、教科・領域	小学校第5学年 総合的な学習の時間
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統工芸である「豊橋筆」の製作体験を通して、職人さんから、直接仕事に対するやりがいや責任を感じ取るとともに、仕事の難しさや厳しさにも触れ、ものづくりの大切さと働く意義に気付かせる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした伝統的な産業や文化を調べ、郷土を愛する心を育てるとともに、脈々と受け継がれてきたものづくりの技術の素晴らしさと、その技術を伝える人々の思いに触れ、伝統文化を守り、大切にすることを育てる。 ・本実践では、「豊橋筆」の伝統技術を受け継ぐ職人との交流を通して、仕事を続けていく上での喜びや苦勞、作りだした製品に対する責任など、ものづくりにかける人々の思いに触れることで、社会人・職業人として働くことの意義を感じ取り、目的をもち積極的に生きることの大切さを伝えたい。

<社会科>
わたしたちの生活と工業生産

主な学習活動	時数
・豊橋の伝統的な文化や産業にはどんなものがあるか調べよう	4
・豊橋筆って知ってる？	1
「伝統の筆づくりを体験しよう」 (1) 仕事の難しさややりがいに気付き、働くことの大切さに目を向けることができる。 (2) キャリア教育としての目標 「キャリアプランニング能力」 <働くことの意義や役割の理解>	3
・お礼状を書こう	1
・職人さんの思いやこだわりをまとめよう	3

本実践

<特別活動>
感謝の気持ちを表そう！

語り合おう
マイロード (6年)

伝統の筆づくりを体験しよう

1 学年、教科・領域 小学校第5学年 総合的な学習の時間

2 本時の目標

- (1) 豊橋筆の職人から直接話を聞いたり、筆づくりを体験したりすることから、仕事の難しさややりがいに気付き、働くことの大切さに目を向けることができる。
- (2) **「キャリアプランニング能力」<働くことの意義や役割の理解>**

3 準備

- 豊橋筆振興組合による筆材料一式、タオル、豊橋筆パンフレット

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 豊橋筆の概要説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由来、特徴・原料等について知る。 <p>2 職人の製造工程を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の手順や様子で気付いたことをメモする。 <p>3 職人から話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問や心に残ったことをメモする。 	<p>○資料を配付し説明を聞きながらメモを取らせる。</p> <p>○手際の上さや、出来映えの素晴らしさに着目させる。</p> <p>○真剣さが伝わるように、作業の音や職人の息づかいにも目を向けさせる。</p> <p>○職人に、仕事をする上でのこだわりや、喜び、やりがい、難しさを、作業を通して話していただく。</p>
<p>伝統の筆づくりを体験しよう。</p>	
<p>4 作業手順を確認し、グループごとに作業をする。</p> <p>(1) 職人さんの実演を見ながら、自分の筆をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂首が曲がってしまう。 ・穂先がそろわない。 ・糊がつきすぎてしまった。 ・自分の力で筆に仕上げられた。 <p>(2) 作業を通して感じた仕事の難しさや、やりがいについて職人に質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番難しいと思うことはどんなことですか。 ・仕事をしてきて、うれしかったことは何ですか。 	<p>○グループに分かれ、具体的な作業を通して、職人さんと話ができるようにする。</p> <p>○作業の難しいところでは、職人に助けをもらいながら、仕事の難しさや職人の技術の高さを感じられるようにする。</p> <p>○職人の仕事へのこだわりが引き出せるように、作業の節目ごとに、子どもたちの作業を確認し、出来映えを評価してもらう。</p> <p>◎職人への質問を通し、仕事に対する思いの強さややりがいに気付かせる。</p> <p>☆作業を通して、職人の技術の高さと仕事に対する厳しさに気付き、働くことの大切さを感じ取ることができたか、発言やノートから判断する。</p>
<p>5 教師の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片付けとお礼をする。 	<p>○職人としての仕事に対する気持ちに着目させ、感じ取ったことをまとめさせる。</p>

ゆめ み ころかい
夢を見つける航海ノート

No.21-01

伝統の筆づくりを 体験しよう

調べて、聞いて、体験し、
新しい発見をしよう。



職人さんに話を聞いたり、
きみたち自身で
つくったりすることで、
技のすばらしさ、また、
その技を長い間伝えることの
難しさが実感できるぞ。

事前学習

習字で使う筆の材料は何ですか。思いつくだけ書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

筆職人さんに質問したいことを書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



筆づくり

筆職人さんの説明や製造の様子で
気づいたこと・分かったこと・心に残ったことを書きましょう。

.....

.....

.....

実際に筆を作ってみて、感じたことを書きましょう。

.....

.....

.....

筆職人さんへの質問をして、
気づいたこと・分かったこと・心に残ったことを書きましょう。

.....

.....

.....

筆職人さんの話や筆づくりを体験した感想を書きましょう。

.....

.....

.....



いちばん
難しかったところはどこかな。
できあがった瞬間、
なにを思ったかな。



職人さんは、
どんなところに
やりがいを
感じていたかな。

先生から

保護者の方から

.....

.....

.....

.....

.....

.....





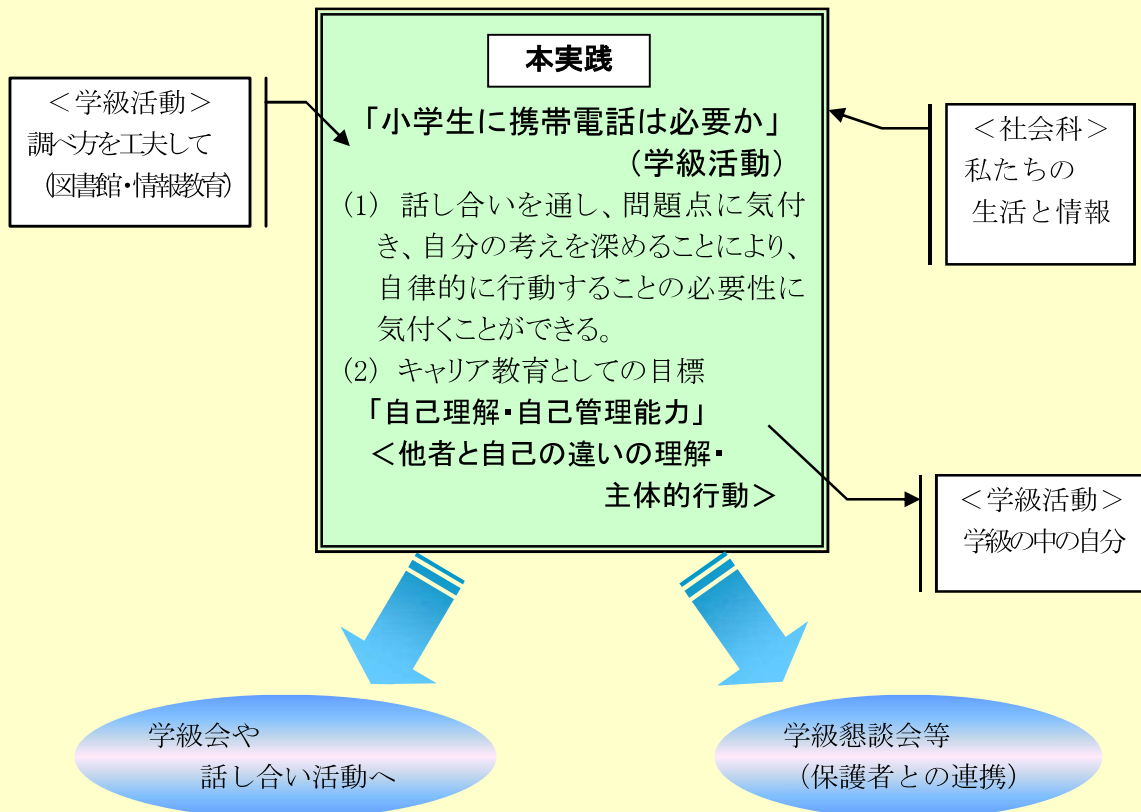
全体構想

No.22

題材名

「小学生に携帯電話は必要か」

1 学年、教科・領域	小学校第6学年 学級活動
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の利便性と内包する問題点を調べ、調べたことを基に話し合う中で、自分が気付かなかった問題点や視点の存在を知り、表面的な感情だけで判断せず、自律的な行動の必要性に気付かせる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の利便性を経験している小学生はすでに相当数いる。このような子どもたちに対し、一概に携帯電話の危険性だけを強調しても理解は得られにくい。本実践では、携帯電話の利便性ととも、利便性に内包される危険や問題を自分たちで調べ、話し合うことを通して、視野を広げたり考えを深めたりし、自律的に行動選択が行えるようにする。 自分の考えに固執するだけでなく、視野を広げ自らの思考や感情を律しながら、自分の考えを生かしつつ、更に考えを深めていくスキルを身に付けることは、キャリア教育の視点から、意義ある活動である。



小学生に携帯電話は必要か

1 学年、教科・領域 小学校第6学年 学級活動

2 本時の目標

(1) 話し合いを通し、携帯電話の利便性と内包する様々な問題点の存在に気付くとともに、事前の調査や話し合いを通して、自分の考えを深めることにより、自律的に行動することの必要性に気付くことができる。

(2) **「自己理解・自己管理能力」＜他者と自己の違いの理解・主体的行動＞**

3 準備

○ 資料「事前調査の結果」(わいわいレコーダー)

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 問題を共有化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の調査結果を確認する。 ・結果について考える。 	<p>○画面上で時間軸と空間軸で利便性と起きている問題点を整理して、対立点を明確にする。</p>
<p>小学生に携帯電話は必要か</p>	
<p>2 本時の課題を把握する。</p>	
<p>3 立場による考えの違いをつかむ。</p> <p>(1) 必要か、不必要か、自分の立場を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでもどこでも使えて便利だ。 ・GPSや防犯ブザーもあるよ。 ・お金がかかる。 ・使い過ぎてしまう。 ・時間に関係なく呼ばれてしまう。 ・だれとつながっているか分からない。 <p>(2) 携帯の問題点を避ける方法や、小学生の生活に必要な利便性なのかの視点で話し合いを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気を付ければ時間や使い過ぎは解決できるよ。 ・携帯がなくても困らないよ。 	<p>○自分の立場を明らかにして、理由を自分の言葉で語らせる。</p> <p>○利便性や問題点をつかんでいるが、立場の判断がつかない児童には、立場を留保して話し合いに参加させ、考えの深まりを促す。</p> <p>○携帯電話で、できるようになること、失うことに目を向けさせる。</p> <p>◎対立する相手の立場に立って、どんな時に必要なのか、携帯電話でなければならないことなのかを、互いの意見を吟味し合うことで考えを深めさせる。</p>
<p>4 自分の立場で考えをまとめる。</p> <p>(1) 解決策を考える。</p> <p>(2) 自分なりの結論を発表する。</p>	<p>○意識した問題点、利便性を示し、解決策と自分なりの結論を発表させる。</p> <p>☆対立する立場の考えも含め、吟味した結論にいたったか、発言やノートから判断する。</p>
<p>5 教師の話聞く。</p>	<p>○深まりきらなかった視点の解決策や、保護者アンケートの結果などを示し、新しいものを活用することと、物事の本質で判断することの大切さを、再度意識させる。</p>

ゆめ み ころがい
夢を見つける航海ノート

No.22-01

小学生に携帯電話は必要か

考え、聞いて、
自分の意見を持とう。
まとめよう。



「携帯電話があるか、いらないか。」
一人一人きっと意見が違うはず。
自分の考えをしっかり持って、
みんなで話し合いをしてみよう。



携帯電話は、スマートフォンの登場で、さらに便利になってきました。
話す、メールするだけではなく、
ときにはゲーム機に、ときには地図に大変身します。
でも、使い方を間違えると事故や事件に巻き込まれてしまうこともあります。

- 1 あなたは携帯電話を持っていますか。 2 「いいえ」と答えた人は、携帯電話がほしいですか。

はい ・ いいえ

はい ・ いいえ

- 3 1で「はい」と答えた人、2で「はい」と答えた人は、
なぜ携帯電話が必要だと思いますか。

.....
.....
.....
.....

離れていても
話ができるね。
いまどこにいるか、
GPS機能でわかるよね。



携帯電話で話したり、
メールしたりするより
直接会って話した方が
気持ちが伝わるわ。



- 4 2で「いいえ」と答えた人は、
なぜ携帯電話が必要ないと思いますか。

.....
.....
.....
.....

授業

友だちの意見を聞いて、「なるほど」と思った携帯電話が必要な理由、不必要な理由を書きましょう。

必要な理由

.....
.....
.....

不必要な理由

.....
.....
.....



友だちの意見を聞いて、改めて「小学生に携帯電話は必要かどうか」について、
立場を明確にしてあなたの意見を書きましょう。

わたしは、小学生に携帯電話は（ 必要 ・ 不必要 ）だと思います。
理由は次の通りです。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

先生から	保護者の方から	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
.....	
.....	
.....	



全体構想

No.23

単元名

「病気の予防と私たちのからだ」

1 学年、教科・領域	小学校第6学年 体育科（保健）
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・細菌やウイルス以外にも、食事を含めた生活習慣によっておこる病気の存在を知り、自分たちでできる予防や生活習慣の改善の方法を考え、誘惑に負けない適切な行動を選択できるようにする。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に起因する生活習慣病の予防や食生活そのものに対する食育の必要性は、知識としてだけではなく実感を持った経験として子どもたちに伝えたい。本実践では、主菜、副菜に含まれる栄養素だけでなく、子どもたちの日常に深くかかわる、スナック菓子や清涼飲料水に焦点を当て、その成分を自分たちで調べることを通して、問題に気付き、改善の方法を考えさせる。 ・間食は、子どもたちの意志でコントロールすることができ、具体的な改善策も示しやすい。このような具体的な事実の積み重ねから、適切な行動を選択することを通して、自らの行動に課題を見付け、改善していこうとする力を育みたい。

主な学習活動	時数
・どうして病気になるのかな	1
・病気はふせげるかな	2
・生活習慣病って知ってる？	1
「健康な食生活を考えよう」 (1) 自らの食生活の問題点に気付き、誘惑に負けない適切な行動を選択することができる。 (2) キャリア教育としての目標 「課題対応能力」 ＜課題発見、評価・改善＞	2
・たばこやお酒も害？	2
・薬物乱用はダメ！	2
・自分のからだは自分で守っていこう	1

＜外部講師授業＞

・保健所

＜外部講師授業＞

・ライオンズクラブ

＜家庭科＞
くふうしよう
朝の生活

本実践 2/2

＜家庭科＞
くふうしよう
楽しい食事

健康な食生活を考えよう

1 学年、教科・領域 小学校第6学年 体育科（保健）

2 本時の目標

(1) グループでの調査の結果から、自らの食生活を振り返り、その問題点に気づき、誘惑に負けない適切な行動を選択することができる。

(2) 「課題対応能力」＜課題発見、評価・改善＞

3 準備

○ 資料「スナック菓子等の食品成分表」、食塩、植物油、砂糖

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 前時にグループで調べた食品の成分を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表を聞き、1日の標準摂取量のどれだけにあたるか知る。 	<p>○スナック菓子、清涼飲料水、インスタントラーメン、ハンバーガー等に含まれる、塩分、脂質、糖分の量を箱、袋、ビンの単位で、実際に食塩、植物油、砂糖を使って量を示させる。</p>
<p>2 自分の食生活の問題点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が、1日に間食でどれだけの塩分、脂質、糖分を摂取しているか計算する。 	<p>○11歳の標準必要摂取量と比較をさせて、自分自身の問題点を明確にさせる。</p> <p>○自分の食習慣から、およその間食量を見込ませる。</p> <p>○およその量を見込めない児童には、1袋、コップ1杯、1びん等の量を示す。</p>
<p>どうすれば健康的な食生活になるだろう？</p>	
<p>3 健康的な食生活を考える。</p> <p>(1) 自分の食生活の問題点を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつだけで必要量を超えている。 ・袋単位で食べて食べ過ぎている。 ・大きな袋で食べていてどれだけ食べているか分からない。 <p>(2) これから何に気を付けていけばよいか考え、解決策を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋食いをしない。 ・お茶や牛乳にする。 ・朝食をきちんととる。 ・1日に食べる食事全体でバランスを考える。 ・食べる時間を考える。 	<p>○自分の言葉で最後まで語らせる。</p> <p>○自分の問題点だけでなく、学級に共通する問題点は何かに着目させる。</p> <p>○ついやってしまうことはどんなことか、日ごろの行動から考えさせる。</p> <p>◎食べないという視点だけでなく、摂取量を1日単位でとらえたり、代替物を考えたりする視点を与え、無理なく改善するための方法を考えさせる。</p> <p>☆自分の食生活を振り返り、誘惑に負けない有効な改善策を考えることができたか、発表やノートから判断する。</p>
<p>4 教師の話聞く。</p>	<p>○食事と生活習慣病の関係を確認する中で、食習慣は一生にかかわることを示し、食事を通して「自分のからだは自分で守る」意識をもてるようにする。</p>

健康な食生活を考えよう

調べて、考えて、
よりよい答えを
見つけよう。



砂糖や塩は、お菓子やジュースを通して、
思ったより多くの量が
体の中に取り込まれているんだ。
ある1日の食生活を思い出して、
問題があるのなら
どうすればよいのかを考えてみよう。

事前調査

種 類	実際のもの	塩分(g)	脂質(g)	糖分(g)
スナック菓子				
清涼飲料水				
インスタント食品				
ファストフード				

各食品の栄養成分表示を切り抜いてのり付けしましょう。

授業

他のグループの発表を聞いて、あなたの食生活にどんな問題点がありますか。

.....

.....

.....

これからの食生活で、あなたが何に気をつけていけばよいか考え、その解決策を書きましょう。

.....

.....

.....

友だちの意見を参考にして、あなたのこれからの食生活に取り入れたいことを書きましょう。

.....

.....

.....

まず、朝ご飯を
しっかり食べること。
そのために、早起きするぞ。
きみは。



寝る前の
ないしょのおやつを
やめるわ。
あなたは。



「食べてはいけない。」
ではなく、
食べ方や食べるものを
きちんと考えてみよう。



先生から

保護者の方から

.....

.....

.....

.....

.....

.....

○

○

○

○

○

○

夢をかなえる 航海ノート

中学校編



No	対象学年	教科・領域名	ノート内容	ページ
24	中全	学級活動	中学〇年生になって	P87
25	中全	学級活動	1年間の目標を決めよう	P89
26	中1・2	学級活動	自分に適する職業調べ	P91
27	中全		部活動をがんばろう	P93
28	中全	学校行事	がんばろう！体育大会	P95
29	中全	学校行事	がんばろう！文化祭	P97
30	中2	特別活動等	志を立てよう「立志式」	P99
31	中全	学校行事	探求！修学旅行(自然教室)	P101
32	中3		高校に体験入学をしよう	P103
33	中全	学級活動	私の足跡ー今学期を振り返ろう	P105
34	中全	学級活動	私の足跡ー1年間を振り返ろう	P107
35	中3	学級活動	私の履歴書	P109
36	中3	学級活動	中学校3年間の思い出	P111
37	中1	道徳	ちびた鉛筆の教え	P113
38	中1	社会	調査テーマを決めよう	P116
39	中1	総合的な学習の時間	大成功！僕らの出店！！	P120
40	中1	学級活動	身近な人に『仕事』インタビュー	P124
41	中2	学級活動	自分を知ろう	P128
42	中2	学級活動	上級学校を調べよう	P133
43	中2	保健体育	チームの中の自分	P137
44	中2	総合的な学習の時間	職場体験レベルアップ大作戦！	P140
45	中2	総合的な学習の時間	職場体験で学んだことを深めよう！	P144
46	中2	学級活動	今から10年後の自分に聞いてみよう	P148
47	中3	学級活動	夢実現への道のり	P152
48	中3	道徳	箏	P156
49	中3	社会	豊かに生きる 社会権とは	P159
50	中3	国語	“メディア社会を生きる”を批評する	P163
51	中3	総合的な学習の時間	輝いている大人って？	P167
52	中3	学級活動	模擬面接をしよう	P171

いっしょに旅をする船員たちです。 いっしょに夢をかなえる仲間になります。

きみが悩んで立ち止まったら、船長のアイリスがアドバイスをしてくれます。
世の中の出来事を知りたくなったら、コノハが最新ニュースを伝えてくれます。
たくさんの仲間たちがきみやきみの同級生であるハナ&ノッキーの手助けをしてくれる大航海、
そのゴールには、きつとなりたい自分が待っています。



名前 アイリス

ニックネーム

船長またはキャプテン

自己紹介

アイリスのアイは愛知の愛。また、アイリスとは英語で愛知県の花、“カキツバタ”のことなんだよ。みんなを見守りながら、ゴールまでいっしょに旅をします。



名前 コノハ

ニックネーム

ジャーナルバード

自己紹介

愛知県の鳥、“コノハズク”と似ているでしょ。みんなに伝えたい情報を探して、世界中を飛び回るジャーナリストだよ。



名前 チツ多 & アツ美

ニックネーム

センパイ

自己紹介

ハナやノッキーの相談相手です。生まれはそれぞれ知多半島、渥美半島だよ。優しく、時には厳しくアドバイスをしていきます。



名前 ハナ & ノッキー

ニックネーム

シンマイ船員

自己紹介

愛知県の花、“ハナノキ”が名前の由来だよ。みんなの同級生です。この航海でいろいろなことを学んで、いっしょに自分たちの夢をかなえたいな。



名前 エピンソン

ニックネーム

タビト

自己紹介

愛知県の魚は、“クルマエビ”って知っていたかな。生まれは伊勢湾、気の向くまま旅をして、見たこと、聞いたことをハナやノッキーに伝えてやるぞ。



名前 オルーカ

ニックネーム

船の精霊

自己紹介

名古屋城の上で光っているシャチの英語名、“オルカ”にちなんだ名前です。みんなの未来を眺めながら、今学ぶべきこと、身に付けたい力などを伝えていきます。



今の自分を知ろう。
知ってもらおう。



中学 年生になって



はじめて出会う仲間に自己紹介をしよう。
どんな自分を伝えたら仲良くなれるんだろう。
しっかり考えるほど今の自分を正確に把握できそうだね。

月 日 年 組 番

名前

生年月日 年 月 日

ニックネーム

性格

写真を貼ろう
(似顔絵をかこう)

出身小学校

今までの部(クラブ)活動

好きなこと

趣味・特技

好きな教科

得意な教科

昨年度で一番思い出に残っているできごと

今年がんばりたいこと

将来の夢

【 指導上の留意点 】

- 主に「自己理解・自己管理能力」を高めます。
- 4月に学級掲示用に「自己紹介」カードとして使用します。
- 4月に個人写真を撮影して添付し(または似顔絵を描き)、生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。
- 掲示後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

1年間の目標を決めよう

未来の
なりたい自分を
かなえよう。



新しい学年の始まりは、新しい目標を立てるときです。
この1年間で「何をしたいか。」を考えることは、
その先にある「どんな自分になりたいか。」につながっていくんだよ。
きみだけの目標をデザインしてみよう。

1年間で「こうなる」宣言

.....
.....
.....

勉強のこと、部活動のこと、
生活のことなど
1年間でかなえたい夢を
書いてみよう。



年生の目標を決めよう

学習について

努力したいことは何ですか。

そのために何をしますか。

.....
.....

.....
.....

中間・期末テストについて

努力したいことは何ですか。

そのために何をしますか。

.....
.....

.....
.....

生活について

努力したいことは何ですか。

そのために何をしますか。

.....
.....

.....
.....

部活動について

努力したいことは何ですか。

そのために何をしますか。

.....
.....

.....
.....

1年間「がんばる計画実行表」をつくろう

	行 事	目 標・努力したいこと
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

【指導上の留意点】

- 主に「課題対応能力」を高めます。
- 1年間で「こうなる」宣言は、学習面・生活面で特になげたいことを書きます。
- 4月に学習面、生活面等の1年間の目標と目標実現方法を考えます。
- 学校の行事予定を示し、行事名やその行事における目標を記入します。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノート(No.33、No.34)を記入する時に利用します。



毎月、目標を決めて取り組んでみよう。
 一つずつクリアしていけば、
 3月には、きっとできることがいっぱいだよ。

先生から	保護者の方から	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
---------------------------------	------------------------------------	---------------------------------

自分に適する職業調べ

未来の
なりたい自分を
さがしてみよう。



「こんなことをしてみたい。」まだ夢の一つかもしれない「将来の職業」を詳しく調べてみよう。そして、調べたことをレポートとしてまとめてみよう。夢の輪郭が少しずつはっきりしてくるぞ。

あなたが興味をもっている職業は何ですか。

.....
.....
.....



「就活」という言葉を知っているかな。
高校生や大学生は今大変な努力をして
仕事を見つけているんだ。
早くからやりたいことを見つけ、
準備をすることは、とても大切なことなんだよ。

今のあなたに向いている職業は何ですか。
授業やインターネットで調べてみましょう。

.....
.....
.....

それらの職業について調べてみましょう。

調べること わかったこと

【指導上の留意点】

- 主に「キャリアプランニング能力」を高めます。
- 適性職業を調べるときは、職業選択等にかかわるホームページなどを利用するのも一案です。
- 図書館、インターネットなどで調べ学習を行います。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

世の中には
どんな職業があるのかしら。
その職業は何をするのかを
教えてくれる本もあるから、
図書館(室)で調べてみよう。



調べたことをレポートにしてみましょう

調べたい職業

.....

選んだ理由

.....

家族の人にも聞いてみよう。



仕事の内容

代表的な会社等

.....

就職するために必要な力・資格

.....

就職までの道のり

.....

どんな知識や技術が必要かな。
それを身に付けるためには
どのような道に進めばよいのかな。



夢をかなえるために、今から努力すること

.....

先生から

保護者の方から

.....

-
-
-
-
-
-

夢をかなえる航海ノート No.27-01

部活動がんばろう

きみの努力、
友の協力で
夢をかなえよう。



「試合に勝つこと」「よい成績を残すこと」それらは部活動の大きな目標だね。
でも、それ以外の宝物も部活動ではたくさん手にできるんだ。
大切な仲間が生まれたり、くじけない心を育てたりと……。
みんなと相談しながら、目標を立ててごらん。結果も必ずついてくるはずだ。

4月に考えてみよう

部活動名

部としての目標は何ですか。

目標を達成するため

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで主に「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」を高めます。
- 4月の雨天時等の部活動のミーティングの時間を利用して、No.27-01の記入をします。
- 3月の雨天時等の部活動のミーティングの時間を利用して、No.27-01を参照しながらNo.27-02の記入をします。
- 生徒の記入後は、顧問と担任でフィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

あなた自身の目標は何ですか。

目標を達成するために何をしますか。

勝つことは大切な目標です。
でも、それ以外の
目標もきっとあるはずだよ。



1 年を振り返ってみよう

目標達成のために努力したこと、努力が不十分だったことを書きましょう。

部として

努力したこと

努力が不十分だったこと

次の学年でがんばりたいこと

あなた自身として

努力したこと

努力が不十分だったこと

次の学年でがんばりたいこと

一番思い出に残っていることは何ですか。

勝ったことより、
負けたことの方が
記憶に残ってるわ。
あなたは。



それはどうしてですか。

前の学年と比べて、部やあなた自身が成長したと感じるところはどこですか。

「日々の努力は、
1年後に効いてくる。」
毎日の練習に
目標をもつといいね。



先輩または後輩に伝えたい言葉を書きましょう。

夢をかなえる航海ノート

No.28-01

がんばろう! 体育大会

みんなと動こう。
協力しよう。



きみ自身の力、チームワークが作り出す力、
両方大切なのが体育大会なんだ。
一人一人が100%の力を発揮したとき、クラスのカも最大になるからね。
さあ、目標を決めてしっかり練習しよう。



体育大会の前に考えてみよう

出場種目・演目とその目標

個人・団体種目: 演目

がんばりたいこと

.....
.....
.....

.....
.....
.....

係活動

がんばりたいこと

.....
.....
.....

.....
.....
.....

体育大会に向けて、クラス目標を決めましょう。

.....
.....
.....

目標に向かって
一致団結ができれば、
チームのパワーが
倍増するね。

クラス目標達成のために、あなたががんばりたいことは何ですか。

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで、主に「人間関係形成・社会形成能力」、
「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」を高めます。
- 体育大会等の行事で行事前にNo.28-01面を、行事後にNo.28-02面を記入してそれぞれ掲示します。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、
学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。



体育大会を振り返ってみよう

個人・団体の種目：演目や係活動の目標は達成できましたか。

.....

クラス目標は達成できましたか。

.....

一番の思い出は何ですか。

.....

来年に向けてがんばりたいことは何ですか。

.....

体育大会を通して発見した、友だちのよいところは何ですか。

.....

体育大会を通して自分が成長したことは何ですか。

.....

体育大会を通して学んだこと、これからの生活に生かしたいことは何ですか。

.....

.....

.....



先生から

保護者の方から

.....
.....
.....

.....
.....
.....

○
○
○
○
○
○
○
○

夢をかなえる航海ノート

No.29-01

がんばろう! 文化祭

みんなで創ろう。
協力しよう。



みんなで一つの作品を完成させることができるのは、文化祭が数少ない機会だね。
だから力が入るし、夢中になれる。
クラスの目標を決めて、最高の結果を残そう。
そして周りの人、自分自身を感動のうず巻きこもう。



文化祭の前に考えてみよう

合唱曲名

あなたの役割・歌うパート

.....
.....
.....

.....
.....
.....

文化祭に向けて、クラス目標を決めましょう。

.....
.....
.....

練習初日に
みんなで考えてみよう。
壁にぶつかったとき、
もう一度がんばろうと思える
魔法の呪文だよ。

クラス目標達成のために、あなたががんばりたいことは何ですか。

.....
.....
.....



あなたの役割を果たすために、あなた自身ががんばりたいことは何ですか。

.....
.....
.....

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで、主に「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」を高めます。
- 文化祭等の行事で行事前にNo.29-01面を、行事後にNo.29-02面を記入してそれぞれ掲示します。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

文化祭を振り返ろう

クラス目標は達成できましたか。

.....

自分自身の役割を果たすことはできましたか。

.....

来年に向けてがんばりたいことは何ですか。

.....

文化祭を通して発見した、友だちのよいところは何ですか。

.....

文化祭を通して自分が成長したことは何ですか。

.....

文化祭を通して学んだこと、これからの生活に生かしたいことは何ですか。

.....



先生から

.....

保護者の方から

.....

○
○
○
○
○
○
○

夢をかなえる航海ノート

No.30-01

志を立てよう「立志式」

自分の成長を知ろう。
自分の志を立てよう。



きみは生まれてからの14年間、どんな道を歩いてきたのだろう。
そして、これからどこへ向かっていくのだろう。
小学校のときに書いた「2分の1成人式」のノートやこれまで記入したノートを確認して、
自分自身の歩みを振り返ってみよう。そして、明日に向かって、高い志を立てよう。



自分史を作ろう(幼少期は保護者の方に尋ねてみよう)

中国に孔子という人がいました。彼の書いた論語の中で、
「吾、十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。五十にして天命を知る。(私は、15才で学問を志した。30才で一人立ちし、40才であれこれ迷うことがなくなり、50才で天の命じた役割を知った。)」と述べています。
15才を目の前にしたきみたちは、どんな志を立てるかな。



年	印象的な出来事
0才	
1才	
2才	
3才	
4才	
5才	
6才	
7才	
8才	
9才	
10才	
11才	
12才	
13才	
14才	

【指導上の留意点】

- 主に「自己理解・自己管理能力」、「キャリアプランニング能力」を高めます。
- 「立志式」を学校行事として位置づけている場合は、ワークシートのひとつとして利用します。
- 「自分史」等は保護者にインタビュー形式で記入します。
- 「未来設計」は、自分の将来の夢をかなえるための視点をもって、それぞれの年の「自分の期待される将来の姿」記入します。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

保護者の方は、あなたにどんな人になってほしいと思っていますか。尋ねてみましょう。

.....

.....

.....

あなたの将来の夢は何ですか。

.....

.....



未来設計をしよう。

年	自分が思う将来の姿
15才	
16才	
17才	
18才	
19才	
20才	
30才	
40才	
50才	
60才	

あなたの将来の夢をかなえるための決意を書きましょう。

.....

.....

.....

愛知県教育委員会のホームページには、「あいちの学校連携ネット」というサイトがあります。県内の高校や大学の情報が掲載されているので、進学を考える時の参考にしてみよう。



先生から	保護者の方から	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
------------------------	---------------------------	---

夢をかなえる航海ノート

No.31-01

みんなと探求しよう。
協力しよう。

探究！ 修学旅行



見学や体験、移動のバスレクに夕食などなど、
それら一つ一つを大切な思い出にするために、
事前の準備や話し合いをしっかりとしよう。
下調べをして、しっかり準備するのもその方法の一つだぞ。



修学旅行に行く前に、考えてみよう

修学旅行の目標を班で決めましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

私みたいな気ままな旅もいいが、
目的がある旅もいいかもな。
きっと学ぶこと、
得ることが多い3日間になりそうだな。



目標達成のために努力することは何ですか。

.....

.....

.....

.....

.....

特に楽しみにしていることは何ですか。

楽しみにしていること

その理由

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで、主に「人間関係形成・社会形成能力」、
「自己理解・自己管理能力」を高めます。
- 修学旅行、自然教室等の行事で、行事前にNo.31-01面を、行事後にNo.31-02面を記入して掲示します。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、
学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

修学旅行を振り返ろう

目標を達成するために、どんなことをがんばりましたか。

新しく発見した友だちのよいところは何ですか。

自分が成長したと思うことは何ですか。

修学旅行の思い出ベスト3を書きましょう。

1位	<hr/> <hr/>
2位	<hr/> <hr/>
3位	<hr/> <hr/>

どうして
ベスト3に入ったのか、
その理由も書いておこう。



修学旅行を終えて、これからの生活に生かしたいことは何ですか。

先生から

保護者の方から

夢をかなえる航海ノート

No.32-01

高校に体験入学をしよう

調べて、考えて、
自分の道を見つけよう。



体験入学は、聞いたり、読んだりして手に入れた情報だけではなく、その高校の雰囲気をも自分自身で感じることができる絶好の機会となりますね。高校を選択するときの貴重な資料になるはずだ。

体験入学の準備をしよう

体験入学に出かける高校

高校名	
住所	
電話番号	
最寄駅	

体験入学で知りたいことは何ですか。

【指導上の留意点】

- 主に「キャリアプランニング」の能力を高めます。
 - 体験入学前にNo.32-01面を、体験入学後にNo.32-02面を記入します。
 - 体験入学をする学校ごとに記入します。
 - 記入後は、キャリアカウンセリングで進路指導等をする際の参考にします。
- その後、ファイルに綴じて累積し、学期末・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。

まず、家から高校までの
通学時間を確認しよう。
そして、「知りたいことリスト」を
作っておきましょう。



気になることが
あったら、
勇気を出して
質問しよう。



体験入学で分かったことをまとめよう

高校の施設や運動場はどんな印象でしたか。

.....

.....



先生の印象はどうでしたか。

.....

.....

生徒の印象はどうでしたか。

.....

.....

部活動はどんな印象でしたか。

.....

.....

体験入学の感想を書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



夢をかなえる航海ノート

No.33-01

私の足跡—今学期を振り返ろう

未来の
なりたい自分を
かなえよう。



4月に立てた目標に、どれだけ近づいているかな？
これまで記入したノートを確認して、一つ一つチェックをしながら振り返ってみよう。
「まだまだ」と感じたら、進むスピードを調整するなど、計画を改善していくのも大切です。
今の学年が終わる時、予定通り目標達成できればいいんだからね。

学習について

4月に記入した1年の目標を読みながら考えましょう。

努力したこと、努力が不十分だったことを書きましょう。

努力したこと

不十分だったこと

.....
.....
.....

.....
.....
.....

好きになった教科は[] 得意になった教科は[]

次の学期の目標

.....
.....
.....



努力したつもり
だったのにな。
きみはどう。



不十分でも
大丈夫よ。
次の目標が
できたってこと。

中間・期末テストについて

4月に記入した1年の目標を読みながら考えましょう。

努力したこと、努力が不十分だったこと、次の学期の目標を書きましょう。

努力したこと

不十分だったこと

次の学期の目標

.....
.....
.....

.....
.....
.....

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで、主に「課題対応」の能力を高めます。
- 今学期で記入し累積したノートを用意します。
- ノートを見て今学期を振り返りながら記入し、次学期の目標を立てます。
- 生徒の記入後は、フィードバックとなる評価を記入します。その後、ファイルに綴じて累積し、学期・学年末のまとめノートを記入する時に利用します。